

公共交通体系の在り方について（案）

【将来の公共交通体系】

- 区内の交通体系は、**東西方向の「鉄道」と南北方向の「バス交通」**を基本に形成
- 移動距離や時間帯・目的・人数等に応じ、**交通手段の特長を生かした役割分担**を行い、地域特性に応じた交通を構築
- 自動運転などの**新技術の導入**により、交通のサービスレベルの維持・向上を目指す。

【公共交通の「幹」（骨格）】

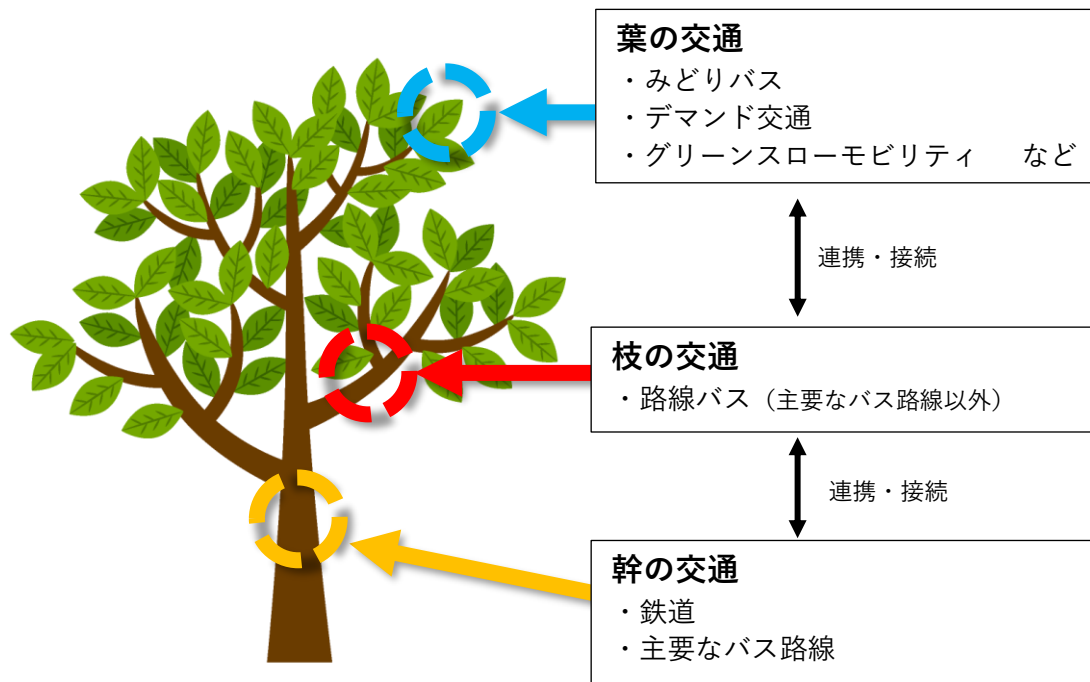
- 都心方面へのアクセスなど、**東西方向**の広域的な移動を支える「**鉄道**」を交通軸
- 鉄道路線間の拠点を結ぶ**南北方向**は「**主要なバス路線**」を交通軸
- 拠点間を結ぶ**都市計画道路が整備**された際には、**主要なバス路線の運行**を目指す。

【公共交通の「枝」】

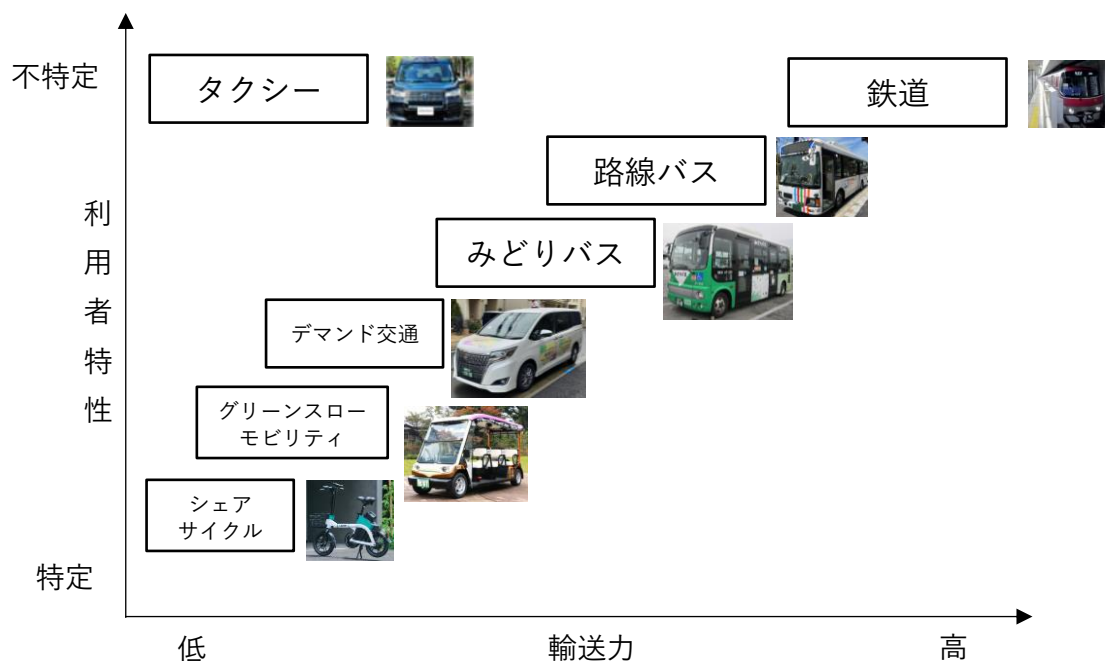
- 「**路線バス（主要なバス路線以外）**」は、骨格となる交通軸を補完する役割を担い、利用者ニーズ等を踏まえ、**適宜、再編**を実施

【公共交通の「葉」】

- みどりバス**は、路線バスを補完する役割を担う。
- デマンド交通、グリーンスローモビリティ、シェアサイクル等**は、**ラストワンマイル**の交通を担い、路線バスや地域内のスーパー等を結ぶことで、日常生活を支える。
- 多様な主体の参画**により、持続可能な交通を目指す。



交通体系のイメージ図



輸送形態による交通手段の分類

<

運行回数別の利用イメージ例 (国土交通省資料)